

2024年3月24日(日)ひる12:25~12:55放送

質の高い医療を身近なものとするために 「総合診療医」がめざすものとは

現代医療は医学の進歩とともに臓器・器官別に専門分化されたことによって、病気のメカニズム等が解明され、治療成績等は格段に向上しました。しかし、時代とともに疾病動向は「感染症の時代」から「生活習慣病の時代」そして新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックによって「感染症と生活習慣病が併存する時代」に変化し、超高齢化社会の到来もあって、一人の患者さんが複数の病気を有し、それら各々の疾患ごとに別々の診療科を受診している現状も散見されます。例えば、脳梗塞の後遺症を総合病院脳神経外科、変形性膝関節症であれば整形外科単科の病院、糖尿病は糖尿病単科のクリニックといった複数個所の医療機関を受診している高齢者も少なくありません。そうした現状にあって、診療科(内科・小児科・産婦人科・外科・整形外科・皮膚科等)の枠を超えて包括的な知識をもった**総合診療医(家庭医)**に対する社会・地域ニーズが高まっています。

今回の番組では、総合診療医の専門医等の資格制度の導入に力を入れてきた日本プライマリ・ケア連合学会の協力の下、欧米では早くから総合医(家庭医)と専門医の役割分担が明確化されてきたなかで、**総合診療医(家庭医)**が目指す医療について解説するとともに、全国的に注目されている、千葉県館山市での**総合診療(家庭医療)**の具体的な取り組み、全国で在宅医療にいち早く取り組んだ松戸市の診療所の取り組みから在宅医療に求められる総合診療の役割等を取材しました。

取材協力

一般社団法人
日本プライマリ・ケア連合学会
理事長 **草場 鉄周** 先生

千葉大学医学部附属病院 総合診療科
科長・教授 **生坂 政臣** 先生
(日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医)

医療法人鉄蕉会
亀田ファミリークリニック館山
院長 **岡田 唯男** 先生

医療法人財団千葉健愛会
あおぞら診療所

理事長・院長 **川越 正平** 先生 (松戸市医師会 会長)